

災害・犯罪・交通事故のない町づくり



【森孝西学区】

■世帯数：3,178 世帯

■人 口：8,130 人

■面 積：0.720k㎡

平成 24 年 4 月 1 日現在

1 活動・取り組みの内容

- ・ 森孝西学区の各町内会で災害救援名簿を作成。
- ・ 年 2 回、森孝西コミュニティセンターで行う高齢者を対象とした食事会において、警察官による犯罪、交通安全に関する講話を実施。
- ・ 森孝西小学校の校庭で、学区の自主防災訓練を実施するほか、町内自主防災会による防災活動も実施している。
- ・ 食事会や防災訓練への延べ参加者数は約 230 人。

【住民への PR 方法】

食事会の参加者の募集は老人クラブに依頼

【アピールポイント】

町内会災害救援名簿を利用して、自主防災訓練で安否確認訓練を行っている。

2 きっかけ、背景

地震災害が起きた場合の住民相互の安否確認体制の整備や、侵入盗・車上ねらいが多発傾向にあるためパトロール体制を強化、高齢者の交通安全に対する意識の向上が求められていた。

3 実施の体制

(1) 運営メンバー

区政協力委員、町内会・自治会長、民生委員児童委員、保健委員、消防団員、PTA、女性団体・女性会、子ども会、老人クラブ、スポーツ推進委員、少年補導員、学識経験者 計約 44 人

(2) 運営協力

小学校に依頼して、学区内の行事への子どもたちの参加を呼びかけている。

4 実施のスケジュール

H24 年 4 月 学区連絡協議会内の組織の立ち上げ
防災会の編成

9 月 自主防災訓練の実施



5 成果と課題

(1) 成果・効果

- ・ 住民が輪番で行う組長、町内会長を一度でも経験した人には、自治会の運営について理解してもらえる。

(2) 苦労した点

- ・ 住民の理解を得ること。
- ・ 共働き家庭が多く、住民と顔なじみになるのに苦労した。

(3) 今後の課題・展望

- ・ 少子高齢社会になり、すべての行事の運営が難しくなっている。
- ・ 活動の担い手の世代交代、一人暮らしの高齢者への支援が課題。

(4) メッセージ・アドバイス

- ・ 近隣学区との連携を密にしていきたい。特に、災害時には、高齢者や幼児等の救出に協力していきたい。

